

藻場造成・藻場再生のご案内

建設コンサルタント建 24 第 7493 号：建設環境、廃棄物



藻場は、魚介類の産卵場や稚魚・稚貝の生育場として機能することから「海のゆりかご」とよばれています。さらに、アワビ・サザエ・ウニなどの重要な漁場であり、水質浄化の効果も期待できます。藻場は、生えている海藻の種類によってアマモ場、ガラモ場、アラメ場、海中林藻場などに分類されます。

しかし現在、藻場は浅海域の埋立や海水の富栄養化、赤潮の発生、海水温の上昇、食害動物の増加などが原因で失われつつあります。当協会では藻場の環境調査のほか、効果的な藻場造成・再生のための生息環境の解析・シミュレーション、造成技術の開発および実施までを手がけており、一貫した高度な技術をご提供できます。

お気軽にご相談下さい。

藻場造成・再生には…

藻場造成の経済的効果は非常に高い反面、

造成方法が適切でなければ、高額な費用をかけても、十分な効果が期待できません。

ご予算内で最大限の費用対効果を与えるには、どうしたらよいのでしょうか？

当協会では、現場海域の特性に合わせ、

ご予算も考慮にいれた藻場造成手法をご提案いたします。

環境調査

適地、適種選定のため、
現地状況を把握します。

- 生態系調査、水産生物・食害動物の生息状況調査
- 潮流、水質、底質などの環境調査
- 周辺海域の藻場の分布・生育状況調査
- 既存資料調査、聞き取り調査 など



生態系調査



候補地調査

解析・シミュレーション

より効果的な
藻場造成のために..

- HSI モデルを使った HEP による生息場の適正評価
- 流況、水質シミュレーションによる生育環境の予測・評価
- 藻場生態系の構造解析

HEP (Habitat Evaluation Procedure) 生息場評価手続き
対象種の生息条件を数値解析することにより、事業実施による効果（対象種の生息の可能性、生態系機能の向上の程度など）を事前に定量的に求めるもの。

HSI (Habitat Suitability Index) 生息場適性指数
HEP における基本モデル。対象種について、いくつかの生息条件に対する適性指数（SI）を組み合わせることにより、生息場としての適性を数値化するもの。

藻場造成・再生

- 適地、適種の造成手法
- 母藻の採取、種付け
- 種苗の培養、中間育成

数々の経験から、藻場造成・再生技術の研究をすすめてきました。
その場所に適した造成方法や食害防止対策を行います。

母藻採取から、造成後のモニタリングに至るまで当協会にお任せ下さい。



種苗培養



種系ブロックの設置



形成されたクロメ場



一般財団法人

九州環境管理協会

〒813-0004 福岡市東区松香台1-10-1

TEL 092-662-0410

FAX 092-662-0411(代表) 092-662-0424(水生生物調査課)

e-mail:syougai@keea.or.jp http://www.keea.or.jp

藻場造成・調査関係：水生生物調査課

料金・見積担当：渉外課